広報かじき

No.323
昭和56年10月号

発行加治木町
編集総務課

常陸宮ご夫妻望岳園をご訪問

常陸宮殿下ご夫妻が10月２日，高井田の特別養護老人ホーム「望岳園」を訪問され入園者を励まされました。

両殿下は，日本青年会議所大会ご出席を前に慰問されたもので入園者に「食事はおいしいですか，体に気をつけてください」とやさしく話しかけられると，入園者の中には，涙を流し，返事に声をつまらせる人もいました。

◆人口22,606(＋14) 男10,652(＋13) 女11,954(＋１) 世帯数 7,608(－４) 56.９.１現在（　）前月比

いつまでも仲むつまじく

50年の歴史25組の合同金婚式

敬老年金等も贈呈

一組ごとに金婚の杯

敬老の日を目前にした九月十一日、本町の合同金婚式と敬老年金等の贈呈式が町福祉センターで行われました。

この日、結婚して五十年、きびしい世の中を生き抜いてこられたカップル二十五組が一組ごとに金婚の杯をくみかわし、五十年の汗と油と喜びの尊さを再認識しました。

また、八十歳以上、九十歳未満の長寿者四百四十五人と老人等看護者三十四人に敬老年金や記念品が贈られました。

金婚夫婦は次の方々です。

寺崎豊志、操(於里)村田正雄、ハツオ(柳田)楮松操、文江(竹下)湯田実、芳子(竹下)伊地知進、ハル(田中)仮屋園武雄、スミエ(西反土後)安田勲、シヅ子(東諏訪)田中慶二、ヒデ(蒲生田二)伊堂寺七兵衛、ノブ(垂ノ口)前田平八、マス(今町)柚木繁、フヂ(岩原西)杉田平、ヲワイ(須崎)福ケ迫藤男、ハマ(須崎)池田輝夫、テル(みろく)末永菊雄、アキエ(楠園)宮田実、ミエ(楠園)畠中近、エイ(布越)川原軍次、フミ(茶碗屋)地久里時吉、みとる(上東木)山下初、キクエ(楠原)隈原国夫、ユキエ(丸岡)榎並隆利、ナツエ(西ひなば)小宮路敬蔵、モリ(辺川下)上野十蔵、チヤ(望岳園)末元定吉、フヂ(望岳園)

長寿おめでとう

町長らが九十歳以上を訪問

町では、敬老の日を記念して九月十二日と十四日、町長をはじめ各種団体長や、知事代理らと九十歳以上の家庭を訪問しました。そして町からはお祝い金を県と社会福祉協議会、婦人会から記念品がまた、新しく九十歳になられた方々には役場の写友会から顔写真が贈られ長寿を祝いました。

今年の九十歳以上のお年寄りは四十六人で最高年齢者は、上木田の扇薗カ子チヨさん百歳。男の最高は下嶽の前畠半左ヱ門さん九十六歳です。前畠さんは夫婦そろって元気で妻のアグリさんが九十歳庭先の菜園畑は半左ヱ門さん一人の仕事とか。

長生きしてください。いつまでも。

夫婦そろって長生き
前畠半左ヱ門さん(九八)
アグリさん(九〇)

厚生年金委員

本町四人に委嘱

高齢化社会の進むなかで、本県の厚生年金受給者は、約四万九千人となり毎年六・七千人の増加となっています。

このようななかで、年金に対する関心はますます高くなっております。このため、鹿児島県厚生年金受給者協会では、市町村ごとに厚生年金委員を設けることになりました。

この委員会では、年金制度の中心になっている厚生年金や国民年金の制度のしくみ、事務手続、年金相談や会員との親睦をはかり、また、受給者の会員勧奨等を行います。

加治木町の年金委員は次の方々です。

春山末武(錦江町)☎②二五八九
上園一男(新富町)☎③〇二三二
西　武夫(仮屋町)☎③三二〇五
岩元久子(小山田)☎③五一〇三

竜門句会

山畑や雲に連なる蕎麦の花　加藤　白柳
火山灰雲の街や峠の葛の花　三浦　ゆう
花影を亘る蜥蜴や昼の月　大迫　すみ
句碑仰ぐ目にはるかなり鰯雲　能勢真砂子
木々を吹く嵐の端先八月尽　高木　正男
日照雨して雫めやしき曼珠沙華　井之上透山
奉納の土俵幣立て月を待つ　川崎　黒兎
芙蓉咲きテニスコートの静かなり　松下
渡りけり秋を渦巻く黒の瀬戸　古江　重美
子がわれを離れゆく日の赤とんぼ　横山　江南
ならび立つ鶏頭にわが托すもの　鶴田　耕
野辺の石抱く如くに萩の咲く　宮脇　思川
荒畑の入日まとひし韮の花　上野　光

あなたの〝体力レベル〟は？

六種目のテストは、体力を構成しているいくつもの要素を組み合わせてあります。このテストによって、自分の体力レベルの目安をつけてください。これからの健康・体力つくりの糸口になるはずです。なお、テストを始める前に、筋肉や関節をほぐす軽い準備運動をしてください。指導：健康・体力づくり事業財団

自分でできる体力測定

《踏み台の昇り降り》

	1点	2点	3点	4点	5点
男子（脈拍数）	60以上	55～59	46～54	41～45	～40
女子（脈拍数）	68以上	64～67	56～63	51～55	～50
体力年代	50歳代	40	30	20	20（強健者）

35cmくらいの台を使い、1歩0.5秒、2秒で1回の割で昇り降りし、3分間続けます。次に、1分間台の上に腰かけて休んでから、脈博を30秒間数えてください（最高血圧150以上の人は避けてください。また昇降中に苦しくなったら、ただちに止めてください）。

《目を閉じて片足立ち》

	1点	2点	3点	4点	5点
男子	0～30秒	31～49	50～69	70～89	90以上
女子	0～30秒	31～49	50～69	70～79	80以上
体力年代	50歳代	40	30	20	20（強健者）

右上の絵のような姿勢で、何秒間じっとして立っていられるか。きき足で立ってよい。
〈注〉目をあけないこと。足の位置を動かさないこと。3回やって、よい点を記録する。

《ジャンプ・ステップ》

床面に週刊誌などを置き、四角の中に立って両足で前後左右に、とぶ運動を10秒間に何回できますか。

	1点	2点	3点	4点	5点
男子	1～17回	18～21	22～24	25～29	30以上
女子	1～15回	16～18	19～22	23～25	26以上
体力年代	50歳代	40	30	20	20（強健者）

《腕立て伏せ》

図のような姿勢で、腕立て伏せを2秒に1回の割合で何回できますか。

	1点	2点	3点	4点	5点
男子	0～10回	11～15	16～20	21～28	29以上
女子	0～3回	4～5	6～7	8～10	11以上
体力年代	50歳代	40	30	20	20（強健者）

《体の前曲げ》

図のように、両足をそろえて台の上に立ち、上体を前に曲げて両手をのばす。記録は台の上を0cm、それ以下をプラス何cmとします。
〈注〉最大に曲げたところで3秒間とめる。

	1点	2点	3点	4点	5点
男子	0～5cm	6～8	9～11	12～15	16以上
女子	0～8cm	9～12	13～15	16～18	19以上
体力年代	50歳代	40	30	20	20（強健者）

《立ち幅とび》

図のような姿勢から前方へどれだけとべますか。

	1点	2点	3点	4点	5点
男子	1～189cm	190～214	215～229	230～249	250以上
女子	1～109cm	110～129	130～149	150～169	170以上
体力年代	50歳代	40	30	20	20（強健者）

テストの判定と総合診断

テスト1～6までの得点によって、円形グラフをつくってみてください。形が円形に近いほど、バランスのとれた体力の持主ということです。形がデコボコで面積が小さいほどアンバランスな体力で、しかも若さの〝衰え〟を示していることになります。※採点表の「体力年代」は、各年代のおおよその平均値を示したものです。

待望のプールが完成

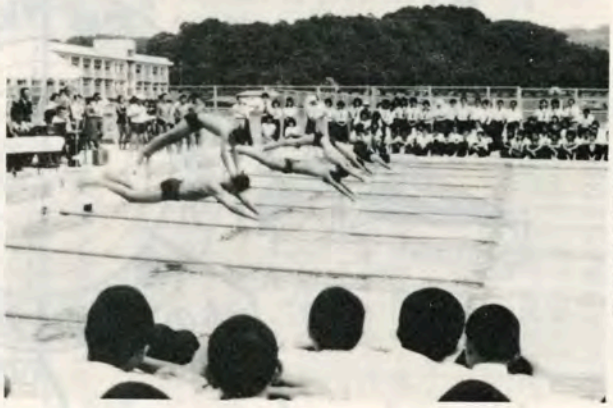
加治木中学校

今年四月統合された加治木中のプールがこのほど完成し、この竣工式とプール開きが九月十七日同中プールで多くの来賓の方々や生徒たちが参加して行われました。

これは、中学校の三年生に「すこしでも泳いでもらい卒業の思い出にしてもらおう」と本年七月から工事が進められていたもので九月十二日に完成しました。

構造は、ステンレス製パネル式で二十五メートルの八コース、水深は一・一メートルから一・三メートルとなっております。

施設は、プール本体のほか男女別更衣室、便所、機械室、倉庫等で総事業費は、五千四百六十五万円。このプール完成に伴い生徒の心身の鍛練はもとより立派な水泳選手が生まれることを期待します



大勢の前で代表者による初泳ぎ

もちつき大会が楽しみ

竜門西浦子ども会

手づくりのカカシを立て収穫をまつ子どもたち

竜門西浦子ども会（市野隆志会長、小学生三十二人、中学生十七人）では、町子ども会育成連絡協議会から今年モデル子ども会の指定を受けたのを機会に、陸稲（もち米）の栽培に取り組んでいます

これは、自然にとけこみ、みんなで協力して「手づくり」をし、親子のふれあいの場をもとうと計画したものです。この趣旨に賛同された赤谷自治会の前田等さんが十アールの畑を提供され、六月上旬に親子で植付けをしました。

その後、暑い夏の日中にも、最近あまり経験していない畑の雑草取りや鍬を使っての土寄せに汗を流し、丹精こめて作ったお陰で稲もみごとに出穂しました。

そして、このほどスズメに食い荒らされまいと、思い思いのかかしを作り上げました。

子ども会では、この秋、収穫したもち米を使って、親子のもちつき大会、おはぎ作りをして、地区の老人の方々に食べてもらおうと張り切っています。

盛り上がったモーテル建設反対署名運動

町内小山田地区に一戸建モーテル建設計画のあることを知った町PTA連絡協議会、町子供会育成連絡協議会、町連合婦人会、町地区公民館連絡協議会、町自治公民館連絡協議会、町青少年育成指導員においては、早速加治木町教育環境浄化推進協議会を結成して、青少年の健全育成に悪影響を及ぼすモーテル建設の中止を嘆願する署名運動を展開しました。

この運動は町民多数の共感を得て、大きな盛り上がりを見せ、九月十六日で締切られ、総計一万二百人に達する署名が集りました。

同推進協議会では、この一万二百人もの署名を持って経営者と、地主に（署名当時と地主は変更）計画中止を強く嘆願しました。

また、町長や教育長にも善処方の要望書が提出されました。

家庭の医療

ものもらい

目の疲れが原因

十月十日は目の愛護デー。とかく目を酷使する現代生活ですが、目が疲れたら〝遠くの緑〟を眺めたりして目を休め、疲れをとるようにしましょう。

まぶたにプッンとはれものができる〝ものもらい〟は、別名を麦粒腫（ばくりゅうしゅ）といい、比較的かかりやすい目の病気ですが、これは疲労とも大いに関係があります。

根をつめた仕事やテレビの見すぎ、寝不足、酒の飲みすぎなどで目が疲れると、まぶたがかゆくなったり、けいれんしたりします。このとき、かいたり、こすったりすると、目に見えないほどのかすり傷ができ、黄色ブドウ球菌などの感染が起こることがあります。これが、痛みやかゆみでうっとうしい〝ものもらい〟となるわけです。

抗生物質の点眼や内服で簡単に回復しますが、まぶたがはれるうっとうしさは、なんとも不愉快なものです。

予防法としては、目を疲れさせないことです。また、かゆくなっても目は絶対にこすらないようにし、がまんできないときは、まぶたを冷やすか、目を洗ってみましょう。

ものもらいが繰り返しできるときは、糖尿病などの疑いもあります。病院で検査してもらいましょう。

話題

加治木団地に木造展示住宅

加治木団地に木造展示住宅が建設され、十月三十一日から展示が始まります。

これは、最近の住宅建設をめぐる諸情勢の変化に適切に対応するため、見本住宅を建設し、県民によりよい木造住宅の普及を行い、もって木材需要の拡大を図るため県の助成によって開催されるものです。

○期間　昭和五十六年十年三十一日から十一月八日まで（展示場のオープン行事十月三十一日(土)午後一時）

○会場　加治木町木田一（加治木団地内）

○展示　住宅三棟（公社型一、東京型一、県木協連型一）小径木利用製品、住宅設備機器緑化樹（展示即売）林材業関係薬品、林産物、各種資料、児童木工展等

出来上がりをまつ木造展示住宅

金婚記念にと花ビンを寄贈

茶碗屋の川原さん

町内茶碗屋の川原軍次さん(七九)が、このほど自作の竜門司焼き「花ビン」を町と町福祉センターに寄贈されました。

これは、川原さん夫妻が、結婚して今年で五十年めの金婚記念の年を迎えられ、これを記念して贈られたものです。

竜門司焼き（三彩焼）は、昭和三十九年に県の文化財として指定をうけ、その技能保持者として川原軍次さんも人間文化財として指定されています。

町の合同金婚式は、九月十一日町福祉センターで行われましたがこれに出席された川原さんは、式を前に町長室を訪れ、「私達夫婦が元気で過ごせるのも、町を始め町民の方々のお陰です。金婚記念に私が造ったものです。」と、町長に手渡されました。

自作の竜門司焼きを贈られる川原さん（左）

〝役に立てば…と〟220冊を寄贈

蒲生田の桐原さん

このほど、町立図書館に文庫本二百二十冊がプレゼントされ、図書館では「特設コーナーをつくらなければ…」と、読書シーズン中のビック、プレゼントに感激しています。

本を寄贈したのは、本町蒲生田の桐原敦子さん（一三歳）で町民の方々にすこしでも役に立てばと贈られたものです。

この文庫本二百二十冊は、段ボール箱二つにぎっしりと詰められいずれも最近五年間に桐原さんが読破したもので、その量、内容、本の傷み具合等、彼女の〝本好き〟を的確に表わしているようです。

図書館では、整理が終り次第、書棚に並べ町民の方々に愛読してもらうことにしていますが、さてあなたは、この二百二十冊の本をどのくらいで読る切ることができますか！ありがとうございました。

プレゼントされた文庫本

町弓道部

県体育協会長賞

本町の弓道部（部當光夫部長部員九十三人）は、昭和五十六年度社会体育優良団体として県体育協会から表彰されました。

これは、永年にわたり地域や職場を明るく豊かにするため、組織的に、計画的に社会体育活動を行っている団体や個人に贈られるものです。

同弓道部は、昭和四十七年十月に結成以来、会員の体力向上と社会体育の実践活動に多大の成果をあげたとして、さる九月十九日、二十日行われた第三十五回県民体育大会の開会式において表彰されました。

優良団体の表彰状とたてを手に

国際障害者年

作文コンクールに83人が応募

国際障害者年を記念して身障者に対する理解を深める目的で募集していました作文に、町内の小、中学生等から八十三点の応募があり、この中から次の十点が特別賞として選ばれました。

この表彰は、九月二十日開かれた第三回福祉大会の席上で行われました。

小学校の部
金賞＝増田美和（柁城小四年）
銀賞＝新　智美（永原小五年）
〃＝田中ルミ（錦江小六年）
銅賞＝笹原健志（加養護三年）
〃＝郡山省治（永原小四年）
〃＝今村陽一（錦江小五年）

中学校の部
金賞＝鰺坂和代（加治木中三年）

高校、一般の部
金賞＝稲元みどり（加治木高二年）
銀賞＝美坂和子（西江口団地）
銅賞＝轟木敏秀（加養護三年）

婦人のコーナー

十月!! 秋です。
スポーツの秋!! 芸術の秋!! 読書の秋!!
食欲の秋!!
あなたの秋はどんな秋…。すばらしい秋をみつけましょう。

おかあさんは

家庭の交通安全指導員!!

—第二回 交通安全母親鹿児島大会—

秋の全国交通安全運動期間の九月二十二日県文化センターに、県下各地から約千六百人の母親たちが、「あぶない、と子をしかるより手をひこう」と染め抜いたオレンジのスカーフを巻き、集まりました。

本県の交通事故は昭和四十七年をピークに減少傾向を示しています。しかしながら、子どもや、お年寄りの事故は反対に増える傾向にあると言われています。

この母親大会では、「交通安全は家庭の中からしつけから」をモットーに、子どもの母親として、尊い生命を守るため、地域で、家庭で、交通安全教育を積極的に推進していこうと話し合われ、次のような大会宣言がなされました。

一、交通安全意識の高揚はまず家庭から。母親が中心となりその気運を高めよう。
二、交通弱者、とりわけ、子どもを交通事故から守り、よりよい社会人として送り出すため交通安全教育をすすめよう。
三、日常のすべてが安全教育の場であることを再確認して行動しよう。
四、暴走族の横行を阻止するには母親の力が大である。暴走をしない、させない、見にいかないを周囲に徹底させよう。

加治木町では、PTA、婦人会を中心に母の会の結成がなされています。

アッという間に尊い生命を奪う交通事故も、その殆んどが不注意だと言われています。

おかあさん、今一度、あなた自身の行動に目を向けてみましょう家庭の交通安全管理者となるために!!

- **自転車の乗り方は?**
- **横断のしかたは?**
- **子どもやご主人をおくり出す時は?**

などなど……

九州電力加治木営業所長賞（55年度省エネ作文コンクール入賞作）

省エネルギー

加治木中 二年三組 中村 あかね

「省エネ。省エネ。省エネ。」この言葉は、新聞、テレビ、ラジオなどで、耳にたこができるぐらい聞きました。そのせいか、いつしかこの言葉は、私達の間で、流行語のような感じではやったのです。「体を動ごかすと、エネルギーが消耗するよ。なんて、ばかげたことをいう人もでてきたこともありました。

しかし、それは口先だけで実際は何気なくいらない電気をつけていたり、見ていないテレビをつけていたりしています。

頭では「いらない電気は消す。」ということはわかっているのです。しかし、つい、つけっぱなしにしているということが現実には多いと思います。

小さなことを見のがさないということが省エネにつながっていくと思います。

よく母が「あかね達が大きくなったら、どんな世の中になっているかね。」と、言います。本当にどうなるのか、予測もつきません。科学が発達して、仕事は全部コンピューターがしてくれるかもしれません。その逆で、テレビも冷蔵庫もない生活にもどるかもしれません。どちらにしろ、その鍵を持っているのは、資源だと思います。その中でも石油という資源は、私達の生活になくてはならない物となってしまいました。

食料品、衣類、いろいろな製品など、ほとんどと言っていいほど石油が使われています。今となっては、石油なしの生活など考えられません。

しかし、その考えられないことが起きるかもしれないのです。それは、石油がたりなくなるということです。あまりにも掘りすぎてしまい、底をつこうとしているのです。

そして今、石油に変わるエネルギーをということで、日本、アメリカ、ドイツ、イギリス、フランスなど、各国がいろいろな開発をしています。

風力、地熱、水力など、さまざまな角度からエネルギー開発が進んでいます。

しかし、それはまだ研究のだんかいであって、実現するには、かなりの時間と資金がかかりそうです。

そうなれば、今ある資源を大切に使っていかなくてはならなくなります。それが省エネになっていくのです。

日本は、石油をほとんどといっていいほど外国の輸入にたよっています。そんな日本ですから、一番省エネに力を入れないといけないのに、外国に比べて、まだまだ国民の省エネに対する取り組みかたが、あまいように思えます。まだ、自分のこととして考えていないからだと思います。

日本人は、もっともっと省エネに関心をもち、自分達の問題として、考えていくべきだと思います。

生ゴミは水切りをよくして決まった日の朝に出しましょう。

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中町福祉センターで応じています。
"ご気軽に"

和気あいあいの中 福祉スポーツ大会

今年は国際障害者年でテーマは「完全参加と平等」です。

この障害者年にふさわしく、老人会、身障者、民生委員、精薄育成会、保護司会、母子会の方々など約六百人が参加して、第三回町福祉大会ならびにスポーツ大会が九月二十日、旧加治木中学校で盛大に開かれました。

福祉大会では、まず物故者のみたまに黙とうをささげたあと大会会長あいさつ、続いて、障害者の看病等社会福祉関係に貢献された方々十九人と作文コンクール入賞者に感謝状が贈られました。

福祉大会に引き続き、スポーツ大会は、まず、八十メートル競歩に始まり、車椅子競走、みんなで踊ろう、ジャンケンポン大会、おにいさんこちら、団体別リレー等しゅこうをこらしたプログラム十九種目にかねてスポーツに親しむことのすくない老人や身障者等が和気あいあいの中、元気いっぱい挑戦しました。

感謝状贈呈者は次のとおりです

村下久信65（東塩入）湯川秋雄83（茶碗屋）丸野ハル82（端山）松田アヤ子58（天神）向江ヒサ子61（鶴原）池畑守夫76（中塩入）中森光哉37（垂ノ口）音之宮キクノ71（長谷）田代礼子56（鶴原）木下明37（姶良町）真野サヨ子38（高井田）竹之内信子47（高井田）山上ヨシ子50（高井田）久木田正子41（高井田）中山セツ子47（東塩入）大岩根ミツエ51（田中）東兼秀34（垂ノ口）鷲フキ49（菖蒲谷上）東川内スエノ48（川内）

〝ねらいさだめソレィ〟ボーリング競技

思い出を記録にと 筋ジス協会に八ミリ映写機

町ロータリークラブ

今年は「国際障害者年」で、テーマは、障害をもつ人の社会への「完全参加と平等」です。この障害者年にちなみ、加治木ロータリークラブ（迫栄吉会長）では、筋ジストロフィ協会に八ミリ映写機一式を八月二十九日、贈りました。

これは、国立南九州病院で難病と闘いながら入院生活を送っている筋ジストロフィのみなさんに、色々な行事や活動を八ミリに納め記録に残し、みなさんの思い出としてください――と贈られたものです。

この日は、この病棟の夏祭りが行われる日で筋ジス病で入院生活を送っている七十六人と一緒に楽しいひとときを過ごそうと駆けつけたお母さんやお父さん達大勢の中、代表の日高和俊君に会長から手渡されました。

そして轟木正明君が「八ミリは数年前のことも思い出すことができます。ふるに活動して、みんなと一緒にガンバリます。ありがとうございました。」とお礼のことばを述べました。

迫会長から手渡たされる８ミリセット

町身障協にも 卓球台を寄贈

加治木ロータリークラブでは、体に障害をもつ方々に、「スポーツを通じみんなが平等に参加し、平等に暮らせる、よりよい社会をつくりましょう。」と、町身体障害者協議会にも卓球台一式を贈りました。

同協議会では、身障者の方々がいつでも使えるようにと町福祉センター会議室におき、多くの参加者を待っております。

町商工婦人部も 善意

町商工会婦人部もこのほど何かの役に立ててくださいと、町身体障害者協議会に善意の二万円を贈りました。

同協議会では、ゲートボール購入費に当てることにしています。

時間励行

町民みんなで時間を大切にし，会合など時間を守りましょう。

おしらせ

後期技能検定

国家試験実施

昭和五十六年度後期技能検定試験が次の要領で実施されます。

これは、職業訓練法に基づいて技能を一定の基準で検定し、「技能士」の称号を与える国家検定試験です。

▽**実施職種**

配管、建築大工、型わく施工、鉄筋組立て、冷凍空気調和機器施工、熱絶縁施工、ガラス施工、農業機械整備、みそ製造、和裁、時計修理、和菓子・洋菓子製造、カーテン施工、建築製図、造園、建築板金、左官、タイル張り、プラスチック系床仕上げ工事、スレート施工等

▽**受付期間**　十月八日(木)から十月二十七日(火)

▽**受検申請書**　受検案内は、町役場都市計画課にあります。

▽**問い合わせ先**　県庁職業訓練課（☎〇九九二―二六―〇一〇五）または職業能力開発協会（☎〇九九二―二六―三二四〇）

町美術展

11月13日～15日

本町恒例の美術展が次の日程で催されます。

昨年度は町民のみなさんから洋画や写真、書など多数出品していただき好評を博しました。

今年度も町民のみなさん方が多数出品くださることを心からお待ちしております。

○開催期日　11月13日(金)から11月15日(日)まで

○開催場所　町福祉センター

○作品搬入　11月6日(金)町福祉センター

うぶ声

八月二十一日から九月二十日までの受付分

出生者	保護者	自治会
木佐貫麗恵	良一	下新道
國生真司	敏子	田中
南原洋平	一郎	春日団地
大野香織	公生	春日団地
竹添葉子	進	萩原
藤田泰光	秀次	反土黒川
町田竜	政治	蔵王団地
山元玲奈	和博	蔵王団地
丸岡陽子	憲治	蔵王団地
山口緑	三雄	竹下
東千晶	秋雄	高井田
竹下美幸	悟	下浜
永岩理佐	透	岩原東
柳沢弘造	勝弘	岩原東
鳥丸恵里	義弘	今町
古市宙	積	岩原西
大山貴子	高則	須崎
水本沙織	展雄	浜村
大迫弘樹	宗俊	東塩入
地蔵堂恵理	忍	下浜
柏木智美	剛	東塩入
市来城児	悠兒	東諏訪
坂元陵子	孝	口ノ町
辻めぐみ	勤	天神
松葉瀬すずみ	弘二	川原
森秀之	義一	西江口団地
益山奈緒美	一徳	西塩入中
内村ひとみ	浩一	今町
石野孝樹	孝昭	蔵王団地
吉原聡	和男	西塩入上
新納和貴	正義	東塩入
古賀美穂	義教	東塩入
津留孝二	美嘉雄	春日団地

御寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますと共に故人のご冥福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　蔵王団地伊庭俊康(保科静子74)

二万円　里ノ下　佐藤次男（正光46）

三万円　新中　仮屋薗みつえ（健次45）

五千円　国分市　上野イキ（テイ）

一万五千円　東塩入　亀井清晴（清93）

三万円　西ヒナバ窪田正廣（ミナ83）

三万円　上浜　松田繁美（玲子51）

三万円　天神　中村勲（テル80）

一万円　小田倉　河越鉄三郎（トキ60）

三万円　上嶽　樗木タツエ（栄66）

二万円　須崎　福ケ迫ハマ（藤男74）

三万円　下東木　渋谷ユキノ（有吉71）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　上浜　松田繁美（玲子51）

○八月二十一日から九月二十日までの御寄付を掲載いたしました。

税は納期内に

今月は町民税、固定資産税三期の納期です。

与謝野夫妻歌碑

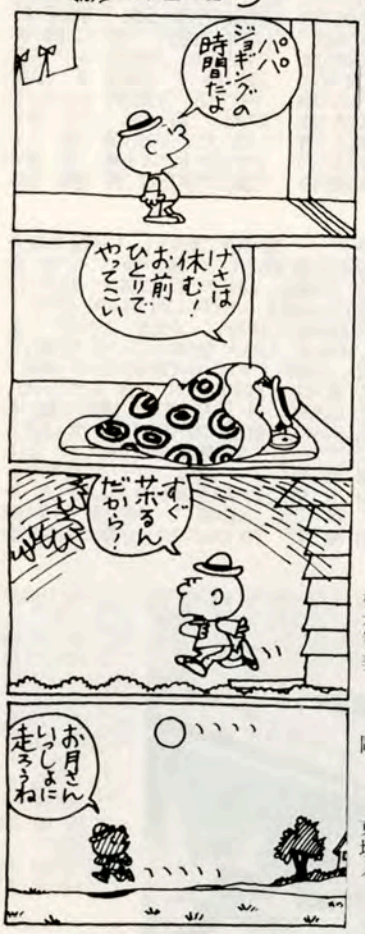
竣工は来春

与謝野夫妻歌碑建設除幕式は、当初本年十一月三日が予定されていましたが、諸般の事情により歌碑竣工は、来春になる見込みです。

間もなく用地造成（性応寺内）が始まりますが、実行委員会では今後も引き続き皆様方のお力添えをお願いいたしています。

御芳志は次で受け付けています

加治木町教育委員会内（与謝野夫妻歌碑建設委員会事務局）

ほのぼの家族

伊田公彦